



飯塚理事長（左）と小沢市長が協定書にサインを交わしました

市は、いわて生活協同組合（飯塚明彦理事長）と「災害時における物資供給に関する協定」を締結し、12月17日に市役所で調印式を行いました。これにより、災害時に食料品や日用品などが必要なとき、市の要請で同組合から物資が供給されます。

同組合は震災後、物資供給やボランティア活動、移動店舗「にこちゃん号」の運行などで被災地を支援。飯塚理事長は「協働の力で住みやすい地域にしたい」と話し、小沢昌記市長は「市民の安全・安心のために力を尽くす」と連携強化を誓いました。

## 「災害時は『コープ』からも物資供給」



市民からの質問に答える小沢昌記市長

市は、市立病院・診療所改革プランに係る2回目の市民説明会を12月16日から18日までの3日間、各区の会場で1回ずつ、計5回開催しました。

説明会には延べ189人が参加。市は先の市民説明会や医療従事関係者との協議、地域医療策定委員会専門委員会などで出された意見を基に、文言修正した同改革プランの案を提示しました。超高齢社会に向けて、地域医療を守り続けるための方策などについて、丁寧に説明し、市民の皆さんに理解を求めました。

## 「地域医療改革に向けてのプラン案を再度説明」



シーズン中の安全を祈願する小沢市長

越路スキー場（江刺区）、ひめかゆスキー場（胆沢区）、国見平スキー場（衣川区）で12月21日、スキー場開きが一斉に行われました。

一面の銀世界に包まれた越路スキー場で行われた安全祈願祭には、小沢昌記市長をはじめ関係者約50人が出席。シーズン中の安全を祈り、多くの来場によるにぎわいを願いました。その後、同スキー場スキー学校インストラクターが模範滑走を披露。隊形のそろった見事な滑りに、場内からは大きな拍手が湧き上がりました。

## 「待ちに待ったスキー場開き」



社会人らしいメイク方法を学びました

就労支援事業の一環として「メイクアップセミナー」を12月25日から27日までの3日間、メイプル地下を会場に行いました。

これは、いわて県南パーソナル・サポート・センターの生活就労相談員が講師となり、就職内定を受けた高校生に社会人らしいメイク技術を指導。25日は5人が参加し、化粧下地の使い方やファンデーションの正しい塗り方など実技を中心に学びました。岩谷堂高校3年の渡辺歩さん（18）は「4月から接客業です。今日教わった技術を身に付けたい」と語りました。

## 「大人のメイクで社会人への第一歩」

# あ た ご 愛宕地域振興会

- 代表者：会長 安倍 一夫
- 人 口：1,671人（男842人／女829人）
- 世帯数：553世帯
- 拠 点：胆沢愛宕地区センター  
（胆沢区若柳字愛宕155番地 ☎02201㉿02050）  
（平成25年11月30日現在）

愛宕地域振興会は8年、地域の振興と住民間の親睦交流、情報交換の組織として設立されました。同振興会の目指すべき地区の将来像は「夢と希望を育み、水と緑のあたご」です。自然豊かな地域で「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と思える地域づくりのために①総務企画②地域活性化③社会福祉④環境安全⑤生涯学習——の5部により、各種事業を展開。同振興会は、旧胆沢町時代から隣接する東成瀬村と「仙北街道」を通じて、交流を続けています。ここでは、その中の特徴的な事業を紹介します。



険しい道も乗り越えます

仙北街道は今から千年以上前に岩手県南部と秋田県仙北地方を結ぶ道路として開削され、軍事的な道、交易などの産業の道、あるいは宗教的な道として、歴史的にも重要な役割を担ってきました。

しかし、時代の変化に伴い、交通手段としての街道は使われることが少なくなり、いつしか荒れ果て、表舞台から姿を消しました。

そんな仙北街道を見直そうという機運が高まり、2年、当時の愛宕公民館が行った生涯学習講座での郷土学習を契機に、わずかな記録や言い伝

この取り組みは、ことしで23回目を迎え、今では、この歴史的資源と大切な自然環境を守ることが地区にも浸透しています。

■仙北街道駕籠道中大会

もう一つ「仙北街道駕籠道中大会」は地域を代表する催しです。重要な歴史の道であった仙北街道を改めて考え



「えっほ、えっほ」と声をあげ力走

る機会にしようとした同大会は、毎年11月に地域の秋まつりと一緒に開催。胆沢区愛宕地区内にある仙北街道の一部をコースとして設定しています。

まず、前半の4区間では、地元住民が仮装し、大名行列を再現。各行政区が持ち回りで仮装を行うことで、地域全体で取り組む意識を醸成しています。

後半5区間では、2人1組でちょんまげと半てんをバトン代わりに、そして駕籠には子どもを乗せて、行政区対抗の早駕籠競走を行い、秋の仙北街道を力強く疾走します。

この大会には、毎年、東成瀬村から参加者があり、交流を深めています。

# 結 21 -ゆい-

～ 30の地区振興会による協働のまちづくり実践事例 ～

特色のある地区振興会の事業を紹介するこのコーナー。シリーズ21回目は、胆沢区の愛宕地域振興会を紹介します。



すばらしい笑顔で踏破を喜びます